

モニタリング結果報告書

平成15年8月

政策体系	番 号					
基本目標	5	労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるよう環境を整備すること				
施策目標	3	労働者の就業状況等に対応した多様な職業訓練・教育訓練の機会の確保を図ること				
		勤労青少年が有為な社会人、職業人として成長しその責任を果たすように支援すること				
担当部局・課	主管部局・課	職業能力開発局キャリア形成支援室				
	関係部局・課					
実績目標1	勤労青少年福祉対策として勤労青少年指導者等の育成・能力の向上のための施策を推進する					
<p>(実績目標を達成するための手段の概要)</p> <p>平成14年度において、勤労青少年指導者等の育成・能力の向上のための施策として、次の講習会及び研修会を実施した。</p> <p>勤労青少年ホーム指導員講習会(以下「指導員講習会」という。)</p> <p>5月、東京において、主に新任の勤労青少年ホームの指導員を対象に、勤労青少年ホームの運営のための基礎的な知識・手法に関する講習会を実施</p> <p>勤労青少年ホーム館長・指導員相談事例研修会(以下「事例研修会」という。)</p> <p>全国10ブロックごとに勤労青少年ホームの館長、指導員を対象に、勤労青少年の相談・指導に係る問題事例に関する研修会を実施</p> <p>勤労青少年指導者実務能力向上研修(以下「向上研修」という。)</p> <p>全国5ブロックごとに勤労青少年指導者(勤労青少年ホーム館長・指導員、勤労青少年福祉推進者)企業の方務管理者等を対象に、勤労青少年福祉に関する実務能力の向上を図るための研修を実施</p>						
(評価指標)		H10	H11	H12	H13	H14
指導員講習会修了者数 (人)		63	48	42	44	40
(備考)						
評価指標は、各年度毎に業務上得られる数を集計						
(評価指標)		H10	H11	H12	H13	H14
事例研修会参加者数 (人)		473	497	383	518	502
(備考)						
評価指標は、各年度毎に業務上得られる数を集計						
(評価指標)		H10	H11	H12	H13	H14
向上研修終了者数 (人)		697	567	515	494	293

(備考)

- ・ 評価指標は、各年度毎に業務上得られる数を集計

実績目標2 | ワーキング・ホリデー制度利用者に対する支援を行うこと

(実績目標を達成するための手段の概要)

勤労青少年を国際感覚豊かな職業人として育成するため、ワーキング・ホリデー制度を利用する青少年に対し、(社)日本ワーキング・ホリデー協会を通じ、ワーキング・ホリデー制度に関する情報の提供、説明会・オリエンテーション等の支援事業を実施する。

(評価指標)

ワーキング・ホリデー制度利用者等に対するアンケート調査の結果

H10	H11	H12	H13	H14
-	-	-	-	-

(備考)

- ・ 評価指標は、定性的指標である。